

## ●「まちの核となるエリア」の弱みを解決する方策・強みを伸ばす方策を検討しました

平成28年8月22日（月）に行われた第3回若者まちづくりミーティングでは、前回に続き、「まちの核となるエリアの魅力創出」を考えるワークショップを実施しました。

その中で、まちの核となる「蒲郡駅南エリア」と「竹島周辺エリア」について、各エリアの弱みを解決する方策・強みを伸ばす方策を議論しました。

議論の結果、「蒲郡駅南エリア」については、「利便性を向上させるため、カフェ、買物、証明書発行等の機能を持たせる」「憩いの場所を設ける」といった意見が出されました。「竹島周辺エリア」については、「蒲郡を代表する観光スポットとして位置づけ、積極的なアピールを行う」「長時間滞在できるような整備を行う」「水族館から竹島までの道を蒲郡の特徴や美しさを感じれるようにする」「観光客だけでなく、市民が運動をしたりくつろいだりできる場所にする」といった意見も出されました。

## 各エリアの弱みを解決する方策・強みを伸ばす方策（意見の例）

蒲郡駅南エリア	竹島周辺エリア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性を向上するため、既存施設に、日常的に利用する機能（カフェ、買物、証明書発行等）を持たせる。</li> <li>・憩いのスペース（勉強スペース、海が見えるカフェ等）を設ける。</li> <li>・民間とも連携して、学生が楽しめる施設等を誘致し、若者が集まれる場所にする。</li> <li>・イベントを実施する。海辺の景観等も活用する。親子連れをターゲットにして人を集める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の販売、体験型観光の拠点整備、看板の設置、パンフレットの配布、観光センターの設置、SNSを活用した情報発信等により、積極的なアピールを行う。</li> <li>・竹島水族館から竹島までの道や、蒲郡駅から竹島周辺エリアまでの道を整備する。</li> <li>・エリア内に長時間滞在できるように、カフェや食事場所の整備や、クーポン券の配布を行う。</li> </ul>

## ●「まちの核となるエリア」における機能の配置を考えました

各エリアの弱みを解決する方策・強みを伸ばす方策を地図上の施設や土地に当てはめ、「学ぶ」「趣味の活動をする」といった「機能」を、どう適切に配置するかを検討しました。また、「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、「複合化・多機能化」の視点も踏まえて、検討しました。

「蒲郡駅南エリア」については、「市民生活に必要なものを凝縮したエリアとする」「市民会館に、図書・メディア閲覧や行政手続きの機能を持たせる」「博物館、市民会館、生命の海科学館を複合化し、学習から趣味の活動まで、幅広い活動ができる施設にする」「博物館の展示機能を生命の海科学館に移す」といった意見が出されました。また、「竹島周辺エリア」については「長時間滞在してもらうためにカフェなど休憩できる機能を設ける」「観光客にとっての魅力が増すようにきれいな施設で特産品を購入したり味わったりする機能を配置する」といった意見が出されました。

また、機能配置にあたっては、「必ずしも施設を整備するのではなく、ボールの貸出などソフト面での工夫をする」「必ずしも公共施設を整備するのではなく民間のスポーツジムを誘致する」といった意見も出されました。



機能配置に関する意見の例

市民会館に、図書・メディア閲覧や行政手続きの機能を持たせる	駅周辺に行政手続きの機能や、特産品を楽しめる場所を整備
市民会館・博物館・生命の海科学館の複合化	体育センターを配置 カフェ等も設ける
駐車場に民間施設を配置すれば、人が流れる	生命の海科学館に海が見える休憩の場
	生命の海科学館に博物館の展示機能
未利用地に体育施設を配置 ボール貸出なども	博物館も含めて複合化し、歴史・文化の拠点に
特産品の販売や体験型観光の拠点を配置	展示や休憩などの集客機能を配置